

# 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	基礎病理学講座( 論文・著書・発表等 )
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 31: 20-21
Issue Date	2021-03-19
URL	<a href="http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1418">http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1418</a>
Rights	©2021 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-26T21:43:35Z

台.

管野良子, 腰塚哲朗, 宮崎 希, 小林敬広, 石岡 賢, 千葉英樹, 錫谷達夫. 味噌と味噌玉による抗肥満作用と脂肪肝の予防. 第73回日本細菌学会東北支部総会; 20190822-23; 盛岡.

佐藤祐子, 小林 誠, 石岡 賢, 錫谷達夫. アメナメビル耐性ヒト単純ヘルペスウイルスと野生株の混合感染. 第73回日本細菌学会東北支部総会; 20190822-23; 盛岡.

#### 〔特別講演〕

錫谷達夫. 移植とサイトメガロウイルス. 感染症インターネット講演会. 20190530. Web 配信.

## 基礎病理学講座

### 論 文

#### 〔原 著〕

Stephenson RE, Higashi T, Erofeev IS, Arnold TR, Leda M, Goryachev AB, Miller AL. Rho flares repair local tight junction leaks. *Developmental Cell*. 201902; 48(4):445-459.

Arnold TR, Shawky JH, Stephenson RE, Dinshaw KM, Higashi T, Huq F, Davidson LA, Miller AL. Anillin regulates epithelial cell mechanics by structuring the medial-apical actomyosin network. *Elife*. 201901; 8:e39065.

Higashi AY, Aronow BJ, Dressler GR. Expression Profiling of Fibroblasts in Chronic and Acute Disease Models Reveals Novel Pathways in Kidney Fibrosis. *Journal of the American Society of Nephrology*. 201901; 30(1):80-94.

Higashi T, Stephenson R, Miller A. Comprehensive analysis of formin localization in *Xenopus* epithelial cells. *Molecular Biology of the Cell*. 201901; 30(1):82-95.

Sugimoto K, Ichikawa-Tomikawa N, Kashiwagi K, Endo C, Tanaka S, Sawada N, Watabe T, Higashi T, Chiba H. Cell adhesion signals regulate the nuclear receptor activity. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*. 201912; 116(49):24600-24609.

#### 〔総説等〕

Higashi T, Chiba H. Molecular organization, regulation and function of tricellular junctions. *Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Biomembranes*. 201912; 1862(2):183143.

## 〔症例報告〕

Sugimoto K, Tanaka M, Chiba H. Myocardial Rupture Due to Metastasis of Urothelial Carcinoma. Circulation Journal. 201903; 83(4):839.

## 研究発表等

### 〔研究発表〕

伊藤沙恵, 富川直樹, 杉本幸太郎, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. タイト結合分子クローディン-2 特異的ラットモノクローナル抗体の有用性. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

齋藤優衣, 杉本幸太郎, 田中瑞子, 千葉英樹. 肺腫瘍塞栓症で死亡した尿路上皮癌の一例. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

杉本幸太郎, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. タイト結合分子クローディンに対するモノクローナル抗体の樹立とその応用. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

辰田功顕, 宮澤公輔, 柏木維人, 矢澤華子, 石井 順, 岩本雅美, 正和明哲, 太田昌幸, 千葉英樹, 矢澤卓也. Liver X receptor(LXR) $\beta$  は小細胞肺癌治療の新規標的分子になり得る. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

山下莉奈, 杉本幸太郎, 山崎森里生, 井村徹也, 千葉英樹. JAM-C 部分ペプチドを活用した新規幹細胞培養法. 第 108 回日本病理学会総会; 20190509-11; 東京.

千葉英樹, 杉本幸太郎. 幹細胞培養補助剤: JAM-C 部分ペプチドは間葉系幹細胞の培養補助剤として有用である. ファーマラボ EXPO; 20190703-05; 東京.

千葉英樹, 杉本幸太郎. 子宮体癌患者の予後予測バイオマーカー. ファーマラボ EXPO; 20190703-05; 東京.

千葉英樹. ラットモノクローナル抗体の樹立と有用性—子宮体癌予後予測と悪性上皮腫の新規マーカーを例に—. 新技術説明会; 20191128; 東京.

大関佳奈, 東 淳子, 東 智仁, 千葉英樹. 脳下垂体前葉の濾胞星状細胞が形成するタイトジャンクションにおける Claudin-9 の発現解析. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

齋藤 明, 東 智仁, 杉本幸太郎, 東 淳子, 菅野雄耶, 千葉英樹. タイト結合分子オクルディン/トリセルリンのノックアウト細胞株樹立と機能解析. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

東 智仁, 古瀬幹夫, 千葉英樹. プロテアーゼによるタイトジャンクションストランドの形成. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.

矢吹峻也, 齋藤 明, 東 智仁, 橋本知樹, 杉本幸太郎, 東 淳子, 菅野雄耶, 千葉英樹. Cingulin および Paracingulin ノックアウト細胞の Phenotype について. 第 42 回日本分子生物学会年会; 20191203; 福岡.